

平成26年度
10月例会
『トップがほめれば、組織は更に元気になる！』
～ほめる効果を考える～

日時：10月23日（木）19：00～21：00
場所：岡崎商工会議所（中ホール）
担当委員会：相互啓発委員会
参加者数：85名



内容をプレゼンする内田副委員長



初の担当例会で挨拶する鈴木委員長



委員会メンバーによる素晴らしいセミナー

10月例会は『トップがほめれば、組織は更に元気になる！』と題して、我々、青年経営者に必要なコミュニケーションスキル『ほめる』の効果についてあらためて考える体感型の研修を開催致しました。まずは、委員会メンバー出演による寸劇などで、ほめ方事例などを収録した映像を用いてほめることについての予備知識を説明させていただきました。そして、ワークの体感と、講師の説明を通して、「ほめる」「ほめられる」事の大切さについて考えて頂きました。

第1のワークは「セルフイメージを高めるワーク」を実践して頂きました。部下の能力を伸ばそうと思ったら、まずセルフイメージを高め、ほめる事が一番大切だと体感してもらい、自分が今までに言われたことがある、もしくは今後言われたいほめ言葉を5分間で可能な限り、用紙に書き上げ、理想の自分像を追求するというワークでした。第2のワークは「リフレーミングをする」というお題で、人の弱点・悪い点を視点をかえて、強み・良い点に言い換え、人の良いところを見つけるというものでした。まずは、準備された10の言葉をよいように言い換える練習をしました。続いてペアを組み、相手の考える自身の弱点を強みに変換して伝えるワークを行いました。第3のワークは「強みを言葉にして伝える」というお題でした。ペアになった相手を30秒間ほめるというワークを行いました。いきなり30秒間ほめるのはなかなか難しかったようです。

最初に、自分では簡単だと思っている「ほめる」事もいざやってみるとなかなか難しかったようです。また、ほめられると研修だと思ってもやはりうれしい。皆さん笑顔になっていました。最後に、各委員長対決の「ほめる合戦」行いました。個性豊かな委員長さんたちですので、各対戦ともたいへん盛り上がりました。頭ではわかっているつमोरのほめる事の重要性をあらためて確認して頂けたのではないのでしょうか。ほめる事は、人の長所を見つける能力も養われ、モチベーションアップにも繋がります。そして、青年部メンバーとの相互の啓発に役立ててもらいたいと思いました。



楽しい進行にメンバーも興味津々



セミナーの中にゲームを取り入れて楽しく演出

【委員長所感】 相互啓発委員会 鈴木久雄委員長
今回の例会は次代を担う企業人としての経営能力向上に必要な『ほめる』という大切なコミュニケーション能力について考える例会を開催させていただきました。パート毎に委員会メンバーが講師を務めたり、映像の中で寸劇を演じたりさせていただいた事で、委員会内部でも多くの学びを得る事ができたと感じています。準備段階で、練習を何度も繰り返す中で改善することが多く、準備にはいくら時間を掛けても足りないと感じました。